

ヒドロキシメチルピラニンシンターゼ

Cat. No. EXWM-2799

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素は、活性中心にヘキサピロールが存在するまで、ピロリルメチル基を段階的に追加することによって機能します。末端のテトラピロールは加水分解されて生成物を得ると、組み立てが続くシステイン結合のジピロールが残ります。第二の酵素であるEC 4.2.1.75 ウロポルフィリンogen-III シンターゼ（しばしばコシンターゼと呼ばれます）が存在する場合、生成物は環化してウロポルフィリンogen-IIIを形成します。EC 4.2.1.75が存在しない場合、ヒドロキシメチルピレインは自発的に環化してウロポルフィリンogen Iを形成します。

別名 HMB合成酵素; ポルフォビリノーゲン脱アミノ酵素; プレウロポルフィリン合成酵素; ウロポルフィリンogen I合成酵素; ウロポルフィリンogen I合成酵素; ウロポルフィリンogen合成酵素; ウロポルフィリン合成酵素; ポルフォビリノーゲンアンモニアリアーゼ（重合）; (4-[2-カルボキシエチル]-3-[カルボキシメチル]ピロール-2-イル)メチルトランスフェラーゼ（加水分解）

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 2.5.1.61

CAS登録番号 9074-91-3

反応 $4 \text{ ポルフォビリノーゲン} + \text{H}_2\text{O} = \text{ヒドロキシメチルピレイン} + 4 \text{ NH}_3$

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。